

愛 I

愛は、聖書の集約である。

『先生。律法の中で、たいせつな戒めはどれですか。』そこで、イエスは彼に言われた。「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』これがたいせつな第一の戒めです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。律法全体と預言者とが、この二つの戒めにかかっているのです。」(マタイ 22:36-40)

『すべての命令の中で、どれが一番たいせつですか。』イエスは答えられた。「一番たいせつなのはこれです。『イスラエルよ。聞け。われらの神である主は、唯一の主である。心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』次にはこれです。『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』この二つより大事な命令は、ほかにありません。」(マルコ 12:28-31)

「『心を尽くし、思いを尽くし、知力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ。』また『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』とあります。」イエスは言われた。「そのとおりです。それを実行しなさい。そうすれば、いのちを得ます。」(ルカ 10:27,28)

「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。」(申命記 6:5)

「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい。」(レビ 19:18)

「兄弟たちよ。もしだれかがあやまちに陥ったなら、御霊の人であるあなたがたは、柔和な心でその人を正してあげなさい。また、自分自身も誘惑に陥らないように気をつけなさい。互いの重荷を負い合い、そのようにしてキリストの律法を全うしなさい。」(ガラテヤ 6:1,2)

「律法を持たない人々に対しては、一私は神の律法の外にある者ではなく、キリストの律法を守る者ですが、一律法を持たない者ようになりました。それは律法を持たない人々を獲得するためです。弱い人々には、弱い者になりました。弱い人々を獲得するためです。すべての人に、すべてのものとなりました。それは、何とかして、幾人かでも救うためです。」(I コリント 9:21,22)

キリストの律法とは、自由の律法であり、愛の律法である。

「だれに対しても負債がないようにしなさい(何も借りがあつてはいけません)。ただし、お互いに愛し合うことのほかには、です。というのは、隣人を愛する人(他人を愛することを実行する人)は[人間同士の関係に関する]律法の全要求を満たしてその律法を完全に守った人だからです。姦淫してはいけない、殺してはいけない、盗んではいけない、むさぼっては(よこしまな欲望をいだいては)いけない、という戒めと、そのほかのどんな戒めも、隣人を自分のように愛しなさい、というこの命令一つに要約されるのです。愛は隣人に害を与えません(決してだれをも傷つけることをしません)。だから愛は律法の全要求を満たす(律法を完全に守ることな)のです。」(ローマ 13:8-10<詳訳>)

「あからさまに責めるのは、ひそかに愛するのにまさる。」(箴言 27:5)

愛は、(最終的には)決してだれをも傷つけることをしない。

「兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。律法の全体は、『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という一語をもって全うされるのです。もし互いにかみ合ったり、食い合ったりしているなら、お互いの間で滅ぼされてしまいます。気をつけなさい。」(ガラテヤ 5:13-15)

愛の性質、特性

アガペー フィレオー
 ἀγάπη (愛する、神の愛) φιλέω (好きである、愛する、好む、自分を愛する愛、利己的な愛)

エロス(性愛) 聖書の掲げる愛は、^{アガペー}ἀγάπη

「憎しみは争いをひき起こし、愛はすべてのそむきの罪をおおう。」(箴言 10:12)

「エルサレムの娘たち。私は・・・あなたがたに誓っていただきます。揺り起こしたり、かき立てたりしないでください。愛が目ざめたいと思うときまでは。」(雅歌 2:7,3:5,8:4)

他からせかされて持つものではなく、おのずと目ざめるもの。

「知識は人を高ぶらせ、愛は人の徳を建てます。」(I コリント 8:1)

「たとい、私が人の異言や、御使いの異言で話しても、愛がないなら、やかましいどらや、うるさいシンバルと同じです。また、たとい私が預言の賜物を持っており、またあらゆる奥義とあらゆる知識とに通じ、また、山を動かすほどの完全な信仰を持っていても、愛がないなら、何の値打ちもありません。また、たとい私が持っている物の全部を貧しい人たちに分け与え、また私のからだを焼かれるために渡しても、愛がなければ、何の役にも立ちません。愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、怒らず、人のした悪を思わず、不正を喜ばずに真理を喜びます。すべてをがまんし、すべてを信じ、すべてを期待し、すべてを耐え忍びます。愛は決して絶えることはありません。」(I コリント 13:1-8)

決して絶えることがない。

「いつまでも残るものは信仰と希望と愛です。その中で一番すぐれているのは愛です。愛を追い求めなさい。」(I コリント 13:13,14:1)

いつまでも残り、一番すぐれているもの。

目標とする愛、偽善ではない愛とは

「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。生まれるのに時があり、死ぬのに時がある。植えるのに時があり、植えた物を引き抜くのに時がある。殺すのに時があり、いやすのに時がある。くずすのに時があり、建てるのに時がある。泣くのに時があり、ほほえむのに時がある。嘆くのに時があり、踊るのに時がある。石を投げ捨てるのに時があり、石を集めるのに時がある。抱擁するのに時があり、抱擁をやめるのに時がある。捜すのに時があり、失うのに時がある。保つのに時があり、投げ捨てるのに時がある。引き裂くのに時があり、縫い合わせるのに時がある。黙っているのに時があり、話をするのに時がある。愛するのに時があり、憎むのに時がある。戦うのに時があり、和睦するのに時がある。」(伝道者 3:1-8)

相手の心が開かれるのを待つ愛。愛の押し売りをしない愛。

「自分の敵を愛し、迫害する者のために祈りなさい。それでこそ、天におられるあなたがたの父の子どもになれるのです。天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるからです。自分を愛してくれる者を愛したからといって、何の報いが受けられるでしょう。取税人でも、同じことをしていませんか。また、自分の兄弟にだけあいさつしたからといって、どれだけまさったことをしたのでしょうか。異邦人でも同じことをするではありませんか。だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。」(マタイ 5:43-48)

迫害する敵のために祝福を祈る愛。

「しかし、(心に留めようとして)今耳を傾けているあなたたちに言うが、あなたたちの敵を愛(することを習慣と)しなさい。またあなたたちを忌みきらう者(憎しみをもってあなたたちを追求する者)に親切を尽くしなさい(よくしてやり、りっぱに応対しなさい)。あなたたちをのろっている者の祝福を祈り求め(幸福を祈り)、あなたたちをはずかしめている者(ののしり、とがめ、誹謗し、脅かしている者)に神の祝福(愛顧)を願い求めなさい。あなたのおお(上あご)を打つ者には、ほかのおお(上あご)をも差し出し、あなたの上着を奪う者には、下着をも拒んではいけない。[必要があつて]あなたたちに請い求める者には、だれにでも与えてやり、あなたたちの持ち物を奪い去る者には、返すことを求めて(要求し)てはいけません。人にしてもらいたいとあなたたちが思う(望む)ように、そのとおり人にしなさい。あなたたちが自分を愛する者を愛する[だけ]ならば、どのような誉れ(感謝)があろうか。[全くの]罪人でさえ、彼らの愛する者(彼らを愛してくれる者)を愛するからである。あなたたちに親切にする者(よくする者(愛顧を示す者(利益を与える者))に親切にする(よくする(愛顧を示す(利益を与える))のならば、どのような誉れ(感謝)があろうか。とりわけ罪深い者でさえ、そのようにしているからである。返してもらえると考える者に利息つきで金を貸すのであれば、どのような誉れ(感謝)があろうか。

評判の高い罪びとでさえ、金額を取り戻すつもりで、[同じ]罪びとに利息つきで貸すからである。しかし、あなたたちの敵を愛し、人に親切にしくよくしてやり(愛顧を示し、だれかが彼らから益を受けるようにしてやり)、返してもらうことを当てにしないで(望まないで(損をしてしまったなどと思わず(だれにも失望せずに)、貸してやりなさい。そうすれば、あなたたちは大きな(豊かな、厚い、ねんごろな、有り余るほどの)報い(報酬)を受け、いとも高いかたの子となる。いとも高いかたは、恩知らずの者(利己主義者)にも悪人にも、親切で(慈悲深く(寛大で)あられるからである。あなたたちのみ父があわれみ深く(同情深く、優しく、物わかりがよく、情け深く)あられるように、あなたたちもあわれみ深く(同情深く、優しく、物わかりがよく、情け深く)ありなさい。)(ルカ 6:27-36(詳訳))

- ① 敵を愛することを習慣にする。
- ② 憎しみをぶつけてくる者に、親切によくしてやる。
- ③ のろう者に祝福(幸福)を祈り求める。
- ④ ののしりはずかしめてくる者に、神の祝福を願う。
- ⑤ ほおを打つ者に、他のほおを差し出す。
- ⑥ 上着を奪う者に、下着をも拒まない。
- ⑦ 必要があって、請い求める者には、だれにでも、与える。
- ⑧ 持ち物を奪い去る者には、返すことを要求しない。
- ⑨ 人にしてもらいたいと思うとおりに、人にする。

あわれみ深く(同情深く、優しく、物わかりがよく、情け深く)あること

「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行なうなら、あなたがたはわたしの友です。)(ヨハネ 15:12-14)

「こういうわけで、あなたがたは、正しく愛されている子どもたち[が、彼らの父を見ならう]ように、神を見ならう者になりなさい(神を模倣し《神の規範に従い》)なさい。また、キリストが私たちが(あなたがたを)愛して私たちのために(あなたがたのために)ご自身をささげて神に対する[あなたがたのための]ほふられた供え物、犠牲となられ、[それが]こうばしいかおり[となったように]、あなたがたも愛のうちに歩みなさい(互いに尊敬し合い、喜び合いなさい。)(エペソ 5:1,2(詳訳))

イエスが愛してくださったように、兄弟が互いに愛すること。

「あなたがたが互いに愛し合うこと、これが、わたしのあなたがたに与える戒めです。)(ヨハネ 15:17)

「愛には偽りがあるわけではありません。悪を憎み、善に親しみなさい。兄弟愛をもって心から互いに愛し合い、尊敬をもって互いに人を自分よりまさっていると思いなさい。)(ローマ 12:9,10)

「もしキリストにあつて励ましがあり、愛の慰めがあり、御霊の交わりがあり、愛情とあわれみがあるなら、私の喜びが満たされるように、あなたがたは一致を保ち、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、志を一つにしてください。何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも省みなさい。あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。)(ピリピ 2:1-5)

偽りのない愛。

へりくだって、互いに人を自分よりまさっていると思う。

「いっさいのことを愛をもって行ないなさい。)(I コリント 16:14)

すべてのことを愛で行なえ。

「兄弟愛をいつも持っていなさい。)(ヘブル 13:1)

いつも兄弟愛を持って。